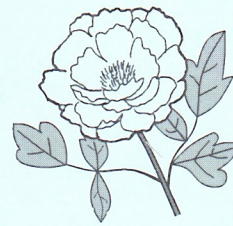
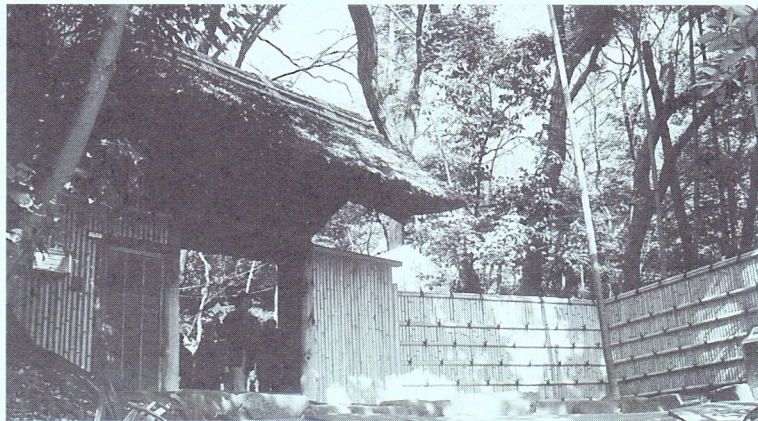


金沢区文化協会設立10周年記念



記念号

し
お
さ
い

金沢区文化協会

編集委員	鈴木 稔
行 人 長	助川 信彦
発 行 人	助川 信彦
刷 幸 栄 印 刷 (株)	
印 刷 幸 栄 印 刷 (株)	
電 話	783-8760
電 話	781-9337
電 話	716-3366

金沢区文化協会会長挨拶



会長 助川 信彦

金沢区文化協会は、平成7年3月区内で各種の文化活動を行って来た諸団体及び区民文化の振興に関心の深い個人が集まって、書道家の故・森下春陵氏を初代会長に選んで設立されました。

かつて、金沢文庫を創設してこの国の学芸振興をはかった金沢実時の志を追慕し、歴史と文化による街創りを活動目標として、区民の文化祭を中心に幾多の文化活動を起こし支援をしてき

ました。また、区内の文化財の保存修復に寄与するとともに、文化の殿堂としての公設ホール建設運動を区民と共に推進しています。この十年間に青少年と共に数々の実践活動を展開し、広く区民の理解と支持を頂いており、具体的事例の一端をあげると、海の公園において塩田による塩づくり、野島公園の伊藤公別荘の清掃や文化財指定運動、川合玉堂邸の園庭清掃、及び区民見学会の誘導等の実績を積んで来ました。

今後、私達は区内に於いて国際的な文化活動を行っている研究機関、大学、図書館とも提携して、金沢区を「文化特区」とするように行政に働きかけ、世界に向かって金沢の歴史と文化を発信して行きたいと考えています。

金沢区長祝辞



区長 橋川 和夫

このたびは金沢区文化協会設立10周年、おめでとうございます。

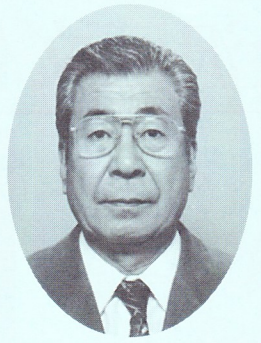
一口に十年と申しますが、この節目の年を迎えられるまでには様々な困難やご苦労があったことと拝察いたしますとともに、会員皆様の金沢を愛する心と、文化活動を通じて地域文化の総

合的發展に寄与しようとする不断のご努力、ご精進に対して、深く敬意を表する次第です。

これからも「区民の作品展」や文化フェスティバルの開催、区民文化祭への参加など地域の文化活動や文化振興の核として、優れた情報を発信していただき、金沢の歴史と文化の発展にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、金沢区文化協会のみまますのご発展と、会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

お祝いの言葉



金沢区町内会連合会
会長 横井 正巳

金沢区文化協会設立10周年おめでとう
ございます。

貴会は、設立以来、金沢区の文化発展のため、種々の取組みをされてきました。とりわけ、他団体とも協力されたの伊藤博文別邸や川合玉堂邸の清掃整備、見学者誘導などについては、高

お祝いの言葉



金沢区文化協会
顧問 鈴木 節夫

本協会設立10周年を心からお喜び申し上げます。私は今から五年程前に協会顧問を依頼されました。その時に活動の目的や事業内容を伺い、私達の住む金沢には由緒ある史跡や文化財が多いことを知り、まさに「文化の街金沢」を実感しました。そして、区内には各種の文化活動に携わる隠れた人材が多いことにも、感動しました。助川会長の最大の関心事は、人口の増加や相次

く評価したいと存じます。

また、小学生・中学生と共に様々な文化活動を進めてこられたことは、金沢区の未来を担う青少年の健全育成につながるものであり、大変有り難く思っております。

今後も、自治会・町内会や観光協会等とも連携をより一層深めていただき、貴会の目標である「歴史と文化の薫る街づくり」を推進されますようお願いいたします。

10周年を迎えた文化協会が、また新たな輝かしい歴史を積み重ねられ、ますます発展されますことを祈念して、お祝いの言葉といたします。

ぐ開発で、金沢の地に根付いている文化の根が次世代には、枯れて途切れはしないか：ということでした。

そこで、私に区内の小中学校の児童、生徒への橋渡しをして欲しいとのことでした。

私は多年児童、生徒の教育に従事して来ましたが、その中で今の子供たちに大切なものが欠けているのではないかと、とりわけ五感が均等に育っていないことを痛感していました。このことは、現在、社会的に注目されている青少年問題にも関係が大きいと存じています。

豊かな情操を備えた子供たちを育て上げるために、金沢区文化協会の今後の活動に大きな期待を寄せるものです。私も共に学び、更に微力を尽くす所存です。

座談会

金沢区文化協会の回顧と展望

(平成16年10月22日開催)

出席者

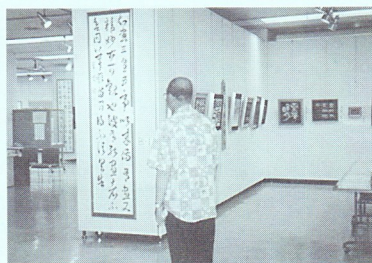
- 司会 総務部長 白井 俊一
- 副会長 平川 信彦
- 会長 助川 静枝
- 監事 計長 星 翠雲
- 事務局長 森川 淳子
- 事務局 生方 幸子
- 理事 佐野 史瑞子
- 事務部長 藤政 也
- 理事 岩瀬 昭二



司会―金沢区文化協会は平成7年3月18日に設立され、まもなく設立10周年を迎えます。これを記念しての座談会をただ今から開催します。

文化協会設立前後

助川―平成に入り、区民文化祭の一環として森下初代会長が委員長「区民作品展」が始まったのを機に、奥田(当時・事務局長)氏が集めた他区の文化協会会則を参考に、協会の設立についての検討を始めた。



岩瀬―当時の作品展は、金沢地区センターの広い体育館の中に、写真や絵画等がおおしるし程度に展示されていて、寂しい限りでした。

星―昭和60年頃から、文化協会設立の話は始まっていました。先ずは「書道協会」が発足し、何回も区長に設立の要望を訴えたりしました。

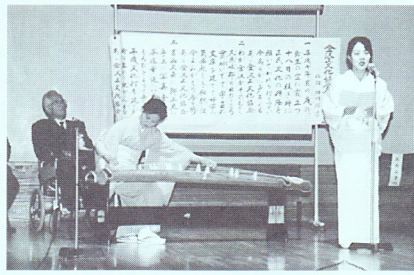
佐野―私は発起人会からの参加ですが、三曲会に所属していて、邦楽協会が欲しいと要望していました。

平等―私は、文化祭の2回目から「音楽のつどい」として、森下会長から、

文化協会設立の話聞き、奥田氏を中心に動きました。
佐野―会費については、初年度は、個人会員は千円、会員数に関係なく団体会員は3千円、賛助会員は1万円でした。印象に残ったのは、民・主導かどうか確かめて、民が主導だと言うことで参加させていただきました。
助川―金沢区文化協会の「区」を入れるかどうかで、大分議論があったと思う。
岩瀬―「区」が入ると、皆さんの印象と信用が増すだろうと。

主催行事等の思い出話など

木村―当初は、金沢公会堂のロビーに写真や書を飾ったり、手工芸では、鶴を折ったのを飾り付けたりして、それなりに綺麗でした。



岩瀬―協会設立総会の会場で、助川副会長が作った文化協会発足の詩を、氏家さんが美しい声で朗詠すると言う一幕もありました。
佐野―設立総会第二部の記念音楽会では、最初の邦楽部門で、金沢三曲会から「春の海」を、金沢桐韻会ではバッハ作曲「管弦楽組曲第二番」を、音楽のつどいが「月光とヒエロ」を、最後に金沢吹奏楽団が賑やかに演奏をしました。

事業目的と現状

後藤―私が入会したのは、設立の二年後の平成9年で、その時の会の運営は

苦しい状況でした。森下会長が病気で倒れ、助川副会長が会長代行をしていましたので、もう一度新しい気持ちになって、文化協会を立て直そうと、「あり方検討会」を発足させ、新しい会則を作り上げました。主だったものは、会費の改正で、また事業に国際交流と歴史と文化財の調査・保全活動が加えられました。その他、吟剣詩舞道連盟と児童文化部が新たに加わり、現状の22部門になりました。

司会―助川会長になってから、会則の冒頭に「武蔵国・金澤以来の伝統を踏まえ、21世紀を展望して、地域の文化振興の中核となることを目指し、ボランティア精神をもって活動する人々の結集体が『金沢区文化協会』である」との前文を入れました。

後藤―文化ホールを作ることが一番の目的で文化協会が発足したと聞いております。会長以下色々とお苦勞されて来ましたが、なかなか具体的な話にならずに現在に至っております。平成11年に、文化ホール建設を促進するため小委員会を作りました。その中で特に主だったことを申しますと、鎌倉芸術館の見学、市会・県会議員のアドバイザーを受けたこと、スローガンの採択、文化ホールの立地条件、今後の運動の展開などでした。スローガンは「金沢区に文化ホールを。文化の街金沢に。」を、名称選択では「文化ホール」と、地域の選択では金沢地区センターの隣接地に、機能面では多機能で客席850席・リハーサル室・会議室など、特色としては金沢区の文化の殿堂として

のホールにして、文化財の展示室とかギャラリー・茶室・各種教室を、と言

うことが結論でした。陳情書を議員団に提出したりしました。市会議員連盟では、高秀市長に金沢区文化センター早期設立要望書が提出され、それに對する回答は「適地の選定を検討して行く……」との玉虫色のものでした。中田市長に代わってからは、未来ミーティング金沢の席上、私から同市長に直接陳情したし、市民局主催の「明日の横浜を語る中期政策トーク&トーク」で、文化ホールと併せて金沢区を文化特区にして欲しいという要望を中田市長と市民局長に出しました。そういう経緯を経てから、助川会長から中田市長へ文化ホール設立についての要望書を提出したところ市民局長を介して次の回答がありました。「金沢区の区民文化センターの整備については市内の文化施設の配置バランスや街づくりの状況等を配慮しつつ、適地の選定等について検討して行きたい」。これが今年3月の最後の回答で、現在に至っております。

支援事業

司会―区役所から、青少年育成事業にも力を貸してもらいたいとの相談もあり、若い人たちと接触して行くことになりました。

氏家―区役所の話では、来年度には各小学校に「金沢区の民話の小冊子」が配付されるとのことです。児童



文化部ではこの小冊子づくりに協力して来ました。小学校では、朗読や読み聞かせの勉強会など、お父さんやお母さんと共に子供の健全育成に取組んでおります。

司会―地域文化の伝承の一環として、小・中学生を対象にした「塩田による塩作り」を始めて、歴史の勉強とともに、親御さんにも喜ばれております。

後藤―能教室も開き、その成果発表として昨年5月、薪能の際に「鞍馬天狗」の花見に出演し、また伊藤博文公別荘での催しの時には、楠山顧問に別荘の話をしていただき、さらに区民作品展に、児童生徒席書大会の作品を多数展示し、好評でした。
森川―小・中学校音楽祭では、最初は参加校が少なかったのですが、最近では文化祭に参加して盛況裡に行われるようになりました。

出前文化活動

佐野―金沢三曲会では、小・中学校を訪問し、箏、尺八などの日本の楽器に



触れてもらい、その良さを知ってもらおうとする活動を、毎年行っています。

氏家―児童文化部でも、小学校や学童保育所で、毎月児童に朗読や読み聞かせ等を行っています。

生方―金沢華道会では、県立金沢文庫の1階ロビー、及び金沢地区センター入口ホールに花席(花の陳列台)を設置して頂き、毎週会員が交替で花を生け、会場の雰囲気と和ませ、来館者にも楽しんでもらっています。



区民文化活動

木村―今年の金沢区民文化祭の区民作品展は、全般的に展示作品が増え、特に写真と絵画は非常に増えました。来場者は2千人ほどで例年と同じくらいでした。



助川―区内の各地区センターを総合的に活用してのもっと発展的な文化祭であつてもいい。例えば、絵画は能見台、写真は釜利谷、文芸は富岡並木の地区センターとか、

各地区センターとの交流も必要ではないだろうか。

国際交流

星―産業振興センターで、海外技術研



修生による席書大会を行い、文化祭作品展にも作品を掲出して好評を博しました。後藤―また海外技術研修生の盆踊り大会を毎年、産業振興センターで行っていて、これも好評です。イギリス艇がベイサイドマリナーに来て歓迎パーティーを行った際、書道と呈茶が行われ喜ばれました。またクリスマス・コンサートに金沢区在住の外国人を招待したこともありました。

文化財の保全

後藤―区役所との一体の活動ですが、川合玉堂邸の保全活動を一昨年と昨年の2回実施しました。2回とも内覧希望者が多くて、入りきれない人が出るほど盛況でした。玉堂邸は、文化協会、シティ



ガイド協会等が協力して管理運営に当たると言う姿勢で臨んでいます。伊藤公の

別荘では、清掃ボランティアと催しを行いました。区民が見学やイベントが出来るよう方向付けして行きたい、と思います。

文化特区

後藤―文化ホールの件については、会長にも回答があつたりして、多少の結論が出ています。後藤―文化協会の活動は、こんな理想を掲げてやっていると、PRをする必要があるのでは、という意見が出て、「歴史と文化が薫る街づくり」と言うチラシを作り、イベントなどで一般に配布しています。この中で、地域の子供や青少年と文化活動を、史跡や文化財の保全・修復・復元を、特色ある歴史と文化の街づくりを、金沢に文化の殿堂である文化ホールを、と言うことをア



ピールしております。森川―21万人都市の金沢区で、自分のところのイベントをやるのに横須賀や鎌倉へ行かなければ出来ないのです。

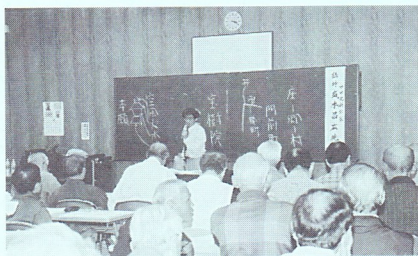


なつて来ました。

主催事業・後援事業

司会―文化協会としては、春は文化講演会、秋は歴史講演会を定期的に開催しています。

助川―来年春の「鍋木清方と金沢八景」講演会など、金沢区の文化と歴史に関係があるような講演会を引き続き行います。



司会―まだ積もる話もあるとは思いますが、それはまた別の機会に譲ることにしまして、本日の座談会はこちらで終わらせて頂きます。

編集 鈴木 稔
写真 一之瀬 炯次
記録 野中 建吾

部門代表による 部門紹介

絵画部

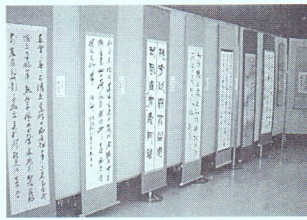
現在絵画部には、団体会員5団体、個人会員22名、会員総数220名余りの方が会員として活動しております。



また平成15年2月20日より4日間の会期で開催された絵画展では個人会員を中心に87点の出品がありました。

昭和62年に設立した金沢区書道協会の書道協会展は、今年度第18回となります。

書道部



第6回の金沢区児童生徒席書大会は文化協会の支援により110名の参加があり盛大に開催出来ました。

今後の活動は、会員増強を含め、

写真部

現在、文化協会には、団体会員として5サークル(会員79名)と個人会員16名が所属しています。



また、例年3月に行われる写真部主催の「わたしたちの金沢写真展」では、従来の芸術度の高い作品はもとよりであるが、少しでも社会性のある、または地域性あふれる作品をとの声が、内部より強くなりつつある事が昨今の傾向として、会員の一つの努力目標として良い作品を狙っています。

手工芸部

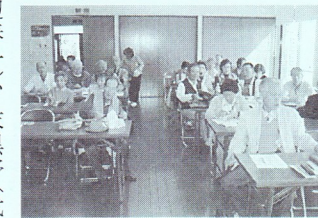
現在、手工芸部には5団体と7名の個人会員が登録されています。



テンドグラス等それぞれ特色のある作品を手掛け、その出来映えは、毎年秋に開かれる金沢区民文化祭でも高く評価されています。

文芸部

文芸部には現在、金沢区民歌人会(会長・助川信彦)、並木短歌会(会長・戸谷澄子)、あさかけ短歌会(会長・助川信彦)、金沢俳句会(会長・渡辺春一)、末黒野(代表・青木重行)の5つの団体が所属している。



歴史部

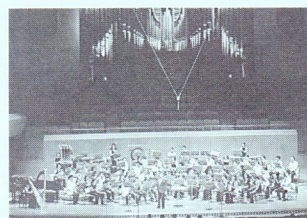
歴史部には「金沢区の文学と歴史愛好会」と「横濱金澤シテイガイド協会」の2団体及び個人5名が所属しています。

で261回になります。会員数は約100名で10名の役員が2名づつ交替で資料作成や説明をしており



器楽部

現在器楽部は、2団体と個人会員5名が所属しています。



合唱部

合唱部は6団体が加入しており、「ひまわり会」は1982年に設立し会員数は35名で、300曲余を歌い、毎年みなどみらいホールでのヴィサン・フェスティバルに参加と、天神寮の慰問を行っている。



邦楽部

邦楽部門には、金沢三曲会、琴安サンブル金沢桐韻会の2団体と個人会員9名が所属し、それぞれ

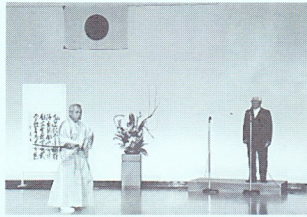
日本の伝統楽器(箏・尺八・三味線等)の演奏会やコンサート、教授活動をしていきます。和楽器が一部の愛好者ものにならぬよう、特に若い世代に少しでも知ってもらいたいと、金沢三曲会は、平成8年から小・中学校訪問し、出前文化活動を続けております。子供たちは目を輝かせて和楽器に触れています。現在中学校2校、小学校は16校に増えました。今後も若い方達へのアピールを続けるとともに、洋楽器、他団体や地域社会との交流を積極的に進めていきます。佐野史瑞子



吟剣詩舞部

吟剣詩舞部は4団体と1個人が加盟しており、文化協会としての活動は、金沢区吟剣詩舞道連盟が区民文化祭に参加し、吟と舞の祭典を行っております。無双流吟道会と清京会は、コーラス・日本舞踊・謡曲・邦楽等と共同出演し、文化フェスティバルで「かきさ輪」を公演しています。

吟剣詩舞部には、居合古武道実行委員会が所属し、毎年瀬戸神社において、精神統一による気迫の籠もった居合道奉納演武を行っております。また、文化フェスティバルにも参加し、一般と異なる雰囲気がある舞台を引き締めています。



華道部

金沢華道会は昭和24年4月創立し、会員は各流派の教授資格を得た人達です。そして会員は、子弟にその道を伝授しながら、金沢区を中心に県展、横浜華道展へと活躍をしております。金沢区民文化祭の「華道展」(2日間)では各子弟が出瓶し、心む会場となり好評をいただいております。年計画として総会、新年会をまたその時に応じて役員会を開き、会員の情報交換を密にして親睦を計っております。これからは時代に合った研究をし、日本の文化継承に努力したいと思います。生方 幸芳



茶道部

茶道部は「金沢茶道会」と「金沢煎茶道会」の2グループと個人3名が所属し、それぞれ独自の活動を行っています。金沢茶道会は創立25年、会員数29名で全員が指導資格所持者です。平成16年には金沢区民文化祭、茶道会春季茶会、ライオンズクラブ共催春の大茶会、及び八景島あじさい祭茶会他に参加しました。金沢煎茶道会では、煎茶は文人茶とも言われ、中国から伝えられ



陶芸部

陶芸部は「横浜備前悠心陶芸クラブ」の1団体のみが所属し、金沢八景駅西側の横浜備前・悠心窯(登り窯)にクラブを置いて活動し、約80名が登録加入しています。作陶は、週4回教室が開かれ都合のよい日に参加し、陶芸を楽しんでいます。



邦舞部

現在文化協会に所属している日本舞踊の団体は、寿鶴会、舞寿美会、金沢区日本舞踊連盟連の会の4団体です。舞寿美会と連の会は金沢区日本舞踊連盟にも属しています。金沢区日本舞踊連盟は今年4月で10歳になります。日本伝統の舞踊の伝承・技芸の向上と会員の親睦交流をはかり、区民文化に寄与することを目的に集まった西川・花柳・坂東・藤間・若柳の日本の5大流派の人達の集団で流派を超えて目的に向かって前進しております。

児童文化部

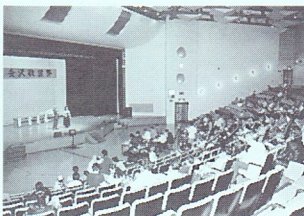
現在、所属個人8名。定期的に

は「児童アト教室」手作り絵本教室「親子で楽しむお話し会」等。不定期には児童対象の「民話」「昔遊び」「Xマスグッズ」等の会、また出前教室は小学校と児童保育所で毎月朗読を行っております。子供達の未来に続く「今」が心身共に、より豊かであることを願って、これからも文化協会から子供達に「豊か」の小さな種を楽しまながら発信して行きたいと思っております。各所ですでに活動中の方や「児童文化」に関心のある方のご参加を期待しております。



一般文化部

金沢ふれあい文化祭実行委員会と金沢歌謡会は、金沢公会堂で開催。ふれあい文化祭は花笠音頭から始まり、民謡、吟詠、舞踊等数十の団体が参加、ロビーでは書道、写真、絵画展が開かれ、毎年盛会。オーピングの花笠音頭からフィナーレの星影のワルツまで、会場全員参加して心のふれあいが広がり楽しさ一杯。金沢歌謡会は年2回開催。楽しく歌う発表の部と歌唱力を審査する部があり、年齢別に分けてあり、デュエット、なつメロも年々盛況。参加者は地元のみならず、千葉、埼玉からも来場、グランプリ大会の優勝者の中にはプロに転向する方も。



洋舞部

ある新聞の欄にひらひらを着た婦人の話が載っていました。それが私とフラとの出会いでした。青い空青い海ハワイそのままの先生にお目にかかる事が出来て、今日まで精進して参りました。何歳になっても美しくありたいと願いつつ背筋を伸ばし、足は地球を押しすかのように、しっかり大地を踏みしめて踊っております。フラから教えられるもの、それは生活の全てです。自然の優しさでしようか。八景学院の昼と夜のレッスンは風景です。スタジオのイベント、金沢まつりなど参加しております。ぜひ皆様も一緒にいかがですか。横堀みつ恵



氏家 総子

金沢区文化協会の 活動年譜

平成年・月・日 行事

7	3・18 金沢区文化協会設立総会 7・9 第1回文化講演会「旅と川柳」講師・田野 諒 9・4〜8 「わたしたちの金沢」写真展(第1回) 《毎年開催》
8	10・8 金沢三曲会の開催 《毎年開催》 10・8〜11・12 第7回 金沢区民文化祭 《毎年開催》 10・25〜29 第7回 区民の作品展(文化協会主催) 《毎年開催》 2・17〜18 児童生徒書初大会展(第6回) (書道部) 3・16〜19 金沢区書道協会展(第9回) 3・16 金沢区伝統芸能まつり(協会設立1周年) 5・12 第2回文化講演会「万葉集に思う」 講師・奥田廣貴
9	7・29〜8・9 「金沢と畠山氏展」・金沢郷土史研究会 10・23〜27 第8回 区民文化祭「区民の作品展」 11・23 オール金沢吹奏楽フェスティバル 12・8 「金沢区日本舞踊連盟」第1回公演 (邦舞部) 12・9 金沢吹奏楽団第27回定期演奏会 (器楽部) 2・9 金沢区郷土芸能まつり(区制50周年) 5・16 金沢区郷土芸能まつり(区制50周年) 5・23〜31 長浜ホール開館記念事業公演 8・19 金沢区民大絵画展 (絵画部) 9・24 文化講演会「冷泉家の伝統と文化」 講師・冷泉貴実子
10	10・23 金沢区郷土史研究発表会 (歴史部) 10・22〜26 第9回 区民文化祭「区民の作品展」 11・3 金沢三曲会結成20周年記念演奏会 (邦楽部) 12・5 「富岡ホール」30周年記念演奏会 (合唱部) 12・7 第2回「古典舞踊と端唄の会」 (邦舞部) 2・1 文化協会3周年記念「邦楽のしらべ」 (区制50周年) 2・22 金沢区吹奏楽フェスティバル(区制50周年) 4・22 文化協会のあり方検討小委員会設置 (会則の変更) 7・4 金沢歌謡会・発表会 (一般文化部) 7・18 区民のつどい「文化ホールの建設」要請 (絵画部) 8・19〜23 金沢区民大絵画展 (絵画部) 10・14〜18 第10回 区民文化祭「区民の作品展」(写真部) 12・15 「この一点」写真展(区制50周年)(写真部) 3・13 文化講演会「中世六浦の庶民生活について」 講師・福島金治
11	

12	3・11 文化講演会「金沢の埋蔵文化財について」 講師・長谷川厚 2・6 金沢区児童生徒書大会 (書道部) 2・20 金沢区吹奏楽フェスティバル(協会5周年) 3・11 文化講演会「金沢の埋蔵文化財について」 10・24 金沢区民短歌大会 (文芸部) 12・5 吟剣詩舞道連盟創立大会 (吟剣詩舞部) 12・10 金沢区児童生徒書大会 (書道部) 7・25 海の公園で「塩田による塩づくり」体験(歴史部) 6・16 第1回 文化ホール建設促進小委員会発足会 5・30 金沢区民俳句大会 (文芸部) 5・8 「手づくり児童絵本教室」の開催(児童文化部)
13	12・2 歴史講演会「金沢八景の遊覧」講師・楠山永雄 3・25 文化講演会「中国で出会った東洋の心」 講師・金 龍澤 6・9〜23 八景島あじさいまつり・茶道会(茶道部) 10・6 産業団地歴史講演会 10・17 北条時宗・貞時の時代の幕府政治 11・10 第13回 区民文化祭「区民の作品展」 11・10 金沢区小・中学校音楽祭 (協会7周年) 11・11 歴史講演会「金沢沖に黒船が来た」 講師・楠山永雄
14	11・18 金沢区児童生徒書大会(第3回) (書道部) 12・9 金沢区日本舞踊連盟公演(第6回) (邦舞部) 12・17 伊藤博文公別荘の清掃と「秋の催し」(第1回) 2・16 文化協会個人会員と懇親会開催 2・26 「わたしたちの金沢」写真展(第7回) (写真部) 3・10 文化講演会「米国の旅の思い出」講師・初芝澄雄 6・6 伊藤博文公別荘で講演会他「伊藤博文と野島別荘」 講師・楠山永雄 7・28 海の公園で「塩田による塩づくり」体験 10・16 第14回 区民文化祭「区民の作品展」 11・1 金沢文庫ロビーに「花席台」設置 (華道部) 11・3 旧川合玉堂邸内覧会 11・6 伊藤博文公別荘で「秋の催し」 11・10 歴史講演会「伊藤博文公と金沢」講師・楠山永雄 12・11 金沢区小・中学校音楽祭(第2回) 1・25 親子の「能」の魅力講座
15	

16	11・16 金沢区民俳句(吟行)大会(第4回) (文芸部) 11・16 歴史講演会「金沢の伝説と民話」講師・楠山永雄 11・30 文化講演会「直木三十五」と文学散歩 10・15 横濱市大・浜大祭に参加 10・5 文化協会顧問会議を金沢区役所で開催 10・19 金沢区児童生徒書大会(第5回) (書道部) 10・15 第15回 区民文化祭「区民の作品展」 9・15 称名寺のガイド(金沢シテイガイド協会) (歴史部) 7・6 金沢歌謡祭(第5回) (一般文化部) 6・8 金沢区民俳句大会(第5回) (文芸部) 5・31 金沢吹奏楽団・高山市吹と合同演奏会(器楽部) 5・25 第1回「か音さ輪」公演 5・3 称名寺新能で親子の「能」講座受講者出演 3・9 イギリスヨットレース歓迎パーティー交流会 3・2 文化講演会「ハマことば」講師・伊川公司 2・9 文化協会団体会員の懇談会開催
17	12・14 金沢区小・中学校音楽祭 (第3回) 12・14 旧川合玉堂邸内覧会 (第2回) 2・20 第1回 金沢区絵画展 (絵画部) 3・ 児童手作り絵本教室(第4回)(児童文化部) 4・4 八景木村邸・お花見と野点と講演会(第21回) (茶道部) 4・4 金沢茶道会春季茶会(第48回) (茶道部) 4・17 7・4 金沢歌謡祭(第6回、7回)(一般文化部) 4・4 ふれあい文化祭 (一般文化部) 5・29 第2回「か音さ輪」公演 (文芸部) 6・6 海の公園で「塩田による塩づくり」体験 8・1 海の公園で「塩田による塩づくり」体験 (文芸部)
18	10・13 第9回 区民アート教室の開催(児童文化部) 10・10 金沢区音楽のつどい(第24回) (合唱部) 10・10 金沢区民俳句(吟行)大会(第5回) (文芸部) 10・17 金沢区民短歌大会(第6回) (文芸部) 10・13 歴史講演会「称名寺と金沢・六浦の中世」 講師・盛本昌広 10・13 第16回 金沢区民文化祭「区民の作品展」 10・17 金沢区音楽のつどい(第24回) (合唱部) 10・10 金沢区民俳句(吟行)大会(第5回) (文芸部) 10・17 金沢区民短歌大会(第6回) (文芸部) 10・13 歴史講演会「称名寺と金沢・六浦の中世」 講師・盛本昌広
19	11・3 金沢三曲会演奏会 (邦楽部) 12・5 金沢区日本舞踊連盟公演会 (邦舞部) 12・12 金沢区小・中学校音楽祭

平成年・月・日 行事

平成年・月・日 行事

文化協会 行事予定

(連絡先)(日程順)

3月12日(土) 金沢地区センター 文化協会10周年記念文化講演会 「鍋木清方と金沢八景」	3月13日(日) 金沢公会堂 文化協会10周年記念式典・公演 「筆捨松」	3月26日(木) 4月1日 金沢地区センター 第10回 わたしたちの金沢写真展	4月3日(日) 八景木村邸 お花見と野点と講演と備前焼展	4月3日(日) 金沢地区センター 第49回 春季茶会	4月7日(木) 11日 金沢地区センター 第2回 金沢絵画展	4月16日(土) 八景コミュニティハウス 金沢区民春の短歌大会	5月() 以下奇数月の第一(火) 金沢地区センター おやこで楽しむおはなし会	6月5日(日) 金沢地区センター 第7回 金沢区民俳句大会	6月25日(土) 金沢公会堂 第9回 金沢歌謡祭	6月 悠心陶芸クラブ 横浜備前焼一門行事展	7月31日(日) 海の公園 第4回 塩田による塩づくり
(781) 8665	(701) 2308	(774) 9382	(701) 0161	(774) 8904	(782) 6789	(781) 5044	(783) 3962	(781) 5044	(783) 5479	(701) 0161	(781) 8665
10月1日(土) 金沢地区センター 第7回 金沢区児童書大会	10月2日(日) 金沢地区センター 歴史講演会 「赤ひげ先生(小川笙船)と金沢」	10月2日(日) 金沢公会堂 文化祭参加 「吟と舞の祭典」	10月5日(水) 金沢地区センター 文化祭参加 第10回 児童アート教室	10月12日(水) 16日 金沢地区センター 第17回 金沢区民文化祭 「区民の作品展」	10月15日(土) 16日 金沢地区センター 文化祭参加 華道展	10月16日(日) 金沢公会堂 文化祭参加 第25回 金沢区音楽のつどい	10月16日(日) 金沢地区センター 文化祭参加 秋季茶会	10月 金沢自然公園 第6回 金沢区民俳句(吟行)大会	11月3日(祭) 金沢公会堂 文化祭参加 第28回 金沢三曲会	12月4日(日) 金沢公会堂 文化祭参加 第10回 金沢日本舞踊連盟公演	12月11日(日) 金沢公会堂 文化祭参加 第5回 金沢区小・中学校音楽祭
(701) 2372	(781) 8665	(783) 2284	(783) 3962	(701) 0795	(782) 1506	(701) 9720	(774) 8904	(781) 5044	(771) 4570	(701) 9207	(788) 2691

賛助会員芳名簿

(個人・団体五十音順)

岩 瀬 博 愛	金澤民謡・舞踊普及会	(社)金沢区三師会	金沢区食品衛生協会	関東学院大学	(社)景翠会金沢病院	幸 栄 印 刷 (株)	(有) 翠 祥 園	(有) 高松写真商会	鳥居泌尿器科・内科医院	真 鶴 会 館
---------	------------	-----------	-----------	--------	------------	-------------	-----------	------------	-------------	---------

顧問名簿

(五十音順)

顧 問 名 簿	相 川 光 正	荻 野 慶 子	小 幡 正 雄	木 村 久 義	楠 山 永 雄	国 吉 一 夫	黒 川 澄 夫	佐 藤 謙 一 郎	塩 浜 方 美	鈴 木 節 夫	田 中 肇	松 崎 淳	松 本 純	峯 尾 舜	谷 田 部 孝 一
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------	---------	---------	-------	-------	-------	-------	-----------

編集後記

平成17年3月が文化協会の設立10周年に当たり「しおさい記念号」を発行することになりました。記事は協会の設立当時から現在までの歩みを座談会で語って頂き、会員の活動状況も併せ紹介することとしました。座談会にご出席、及び各部門紹介をご提出頂いた皆様には、ご協力ありがとうございました。

また、例年定期的に発行予定の「しおさい」3月号は、記念号と発行が重複するため休刊としました。ただし、17年度の文化協会の行事予定は本号に掲載しました。

鈴木

編集委員

岩瀬昭二・氏家総子・後藤政也・佐々木志汪・佐野史瑞子・白井俊一・鈴木 稔・野中建吾・星 翠雲・森川淳子 (五十音順)